

鉄鋼生産と塑性加工油

2008年（1～12月）の粗鋼生産は、1億1,874万トンとなる。
2008年上半期（1～6月）は、前年同期比4.2%増の6,190万トンとなり、暦年半期で過去最高を記録したものの、秋以降の急速な生産減により、08年暦年で3年ぶりのマイナスである。
前年の1億2,019万トンに比べ145万トン減（前年比1.2%減）となる。

需要動向は、第3四半期迄は堅実な伸びを維持したが、第4四半期に入り需要の落ち込みは、自動車、産業機械、建設機械、造船と全産業に及んだ。
年前半、堅調に推移した造船は年後半には受注激減であるが、3年分の受注残により影響は少ないと思われる。

世界の鉄鋼需要は、停滞傾向にある欧米諸国に加え、高成長を維持していた中国、インド等の新興国も急速な減産に見まわれた。

主要国の自動車販売の落ち込み、全般的な経済活動の大幅な鈍化により、鉄鋼需給に多大な変調の兆しが出て来た。

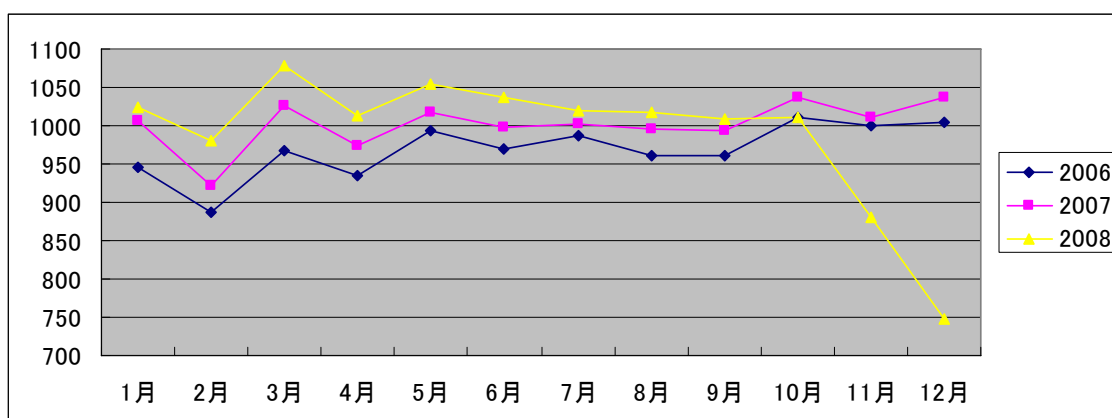
当組合の塑性加工油剤の生産量は、49,706KLと前年の48,436KLに比べ+1,270KL(+2.6%)の増加となる（暦年ベースの比較）。

但し、10月以降の生産量の下降傾向から推測すると、年度ベース（4月～翌年3月）では、前年比減少となる見通しである。

粗鋼生産が年後半に減少した影響は、塑性加工油剤の生産に今後、更に強まるものと思われる。

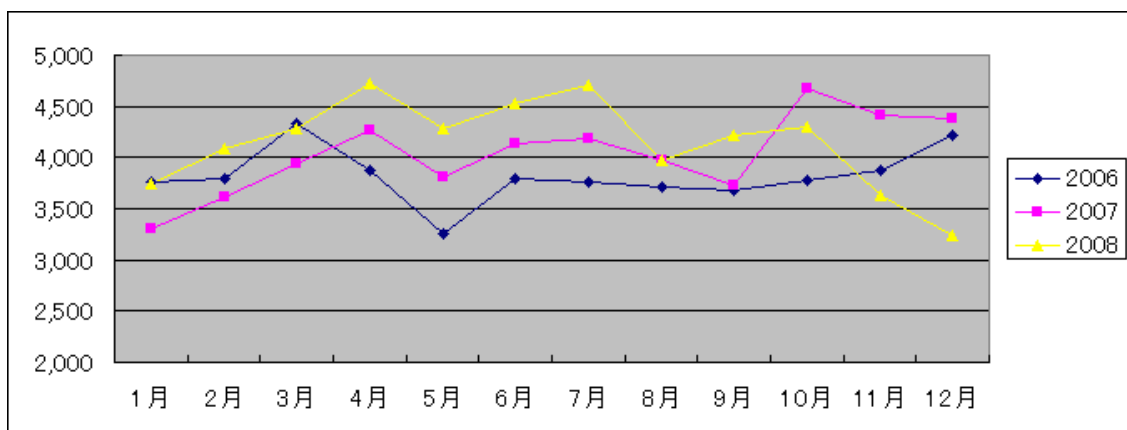
国内月別粗鋼生産量（単位：万トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2006	945	888	968	935	993	969	986	961	961	1,010	1,001	1,005	11,622
2007	1,006	921	1,026	974	1,017	998	1,002	996	993	1,037	1,011	1,038	12,019
2008	1,025	981	1,078	1,014	1,055	1,037	1,019	1,017	1,009	1,010	881	748	11,874



2006～08年 塑性加工油剤生産量（単位：KL）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2006	3,755	3,800	4,337	3,881	3,257	3,797	3,755	3,717	3,684	3,785	3,880	4,215	45,863
2007	3,310	3,609	3,940	4,271	3,813	4,130	4,192	3,974	3,723	4,679	4,416	4,379	48,436
2008	3,744	4,080	4,275	4,727	4,281	4,533	4,699	3,974	4,216	4,298	3,634	3,245	49,706



本資料のデータは、日本鉄鋼連盟等を引用しています。